

平成21年度 第4回研究企画委員会

議 事 録

1. 日 時:平成21年11月16日(月) 15:00～17:00

2. 場 所:日本応用地質学会 事務局会議室

3. 出席者:(アンダーラインは欠席)

大塚委員長,長田副委員長,阪元幹事,天野委員,江口委員,大野委員,小野田委員,
笠委員(代理:山本),品川委員,武田委員,中尾委員,中曽根委員,濱田委員

4. 討議資料

平成21年度第3回研究企画委員会議事録(案)……………(21研企 資料)

地すべりの初生と評価に関する研究小委員会 第17回議事録(案)……………(21研企 資料 -1)

岩盤分類再評価研究小委員会(第二期) 第11回議事メモ ……………(21研企 資料 -2)

災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会 第10回議事録(案)……………(21研企 資料 -3)

応用地形学研究小委員会(第三期)活動報告……………(21研企 資料 -4)

平成21年度第3回事業企画委員会議事録(案)……………(21研企 資 -1)

平成21年度第2回理事会議事録(案)……………(21研企 資 -2)

平成21年度第2回総務委員会議事録(案)……………(21研企 資 -3)

第18回設立50周年記念行事特別委員会議事録ほか関連資料……………(21研企 資)

日本地球惑星科学連合 セッション関連資料……………(21研企 資)

5. 議 事

5 - 1 . 前回議事録の確認

案について、一部修正のうえ、承認した。

5 - 2 . 研究小委員会活動報告

(1)地すべりの初生と評価に関する研究小委員会…阪元幹事

【報告事項】

・第17回委員会(平成21年10月23日開催)の内容、平成22年度シンポジウム準備状況についての報告。

・平成22年度シンポジウムについて、発表者人選中。また、シンポジウムの具体について、事業企画と情報交換を行っている。

・著作権許諾の件で時間がかかる部分も出てくると思われるため、早めの作業進捗を研究小委員会幹事に助言する。

(2) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)・・・阪元幹事代理報告

【報告事項】

・第11回委員会(平成21年11月12日開催)の内容、および、技術書作成の工程、懸案事項の報告。

【審議結果】

・現在の原稿作成状況と著作権許諾のことも考えると、2011年度末の講習会開催と出版物完成の二つを目標とするのは実現に無理があると考えられる。事例としては、出版物の原稿作成をもって研究小委員会の活動を終了とし、残りの実作業は実務レベルで継続した委員会もあることから、その点も踏まえて、実現可能な到達点を研究小委員会として設定するのがよい。

・著作権WG委員の新規募集については、そのためだけの委員に応募があるとは思えず、現実的には厳しい。研究小委員会内で対応することが基本である。その中で必要に応じて研究企画委員会が協力するような形が現実的である。

・査読については、研究企画委員会で行うこととなる。ただし、作業期間・量によっては研究企画委員会委員の他にも協力を求めることとなるため、一次原稿が出揃った頃に一度原稿を上げてもらうこととする。

(3) 災害廃棄物の防災と環境に関する研究小委員会・・・大野委員

【報告事項】

・第10回委員会(平成21年10月30日開催)の内容についての報告。

・来年度の講習会については、研究成果の熟度を考慮して見送ることとし、次年度の研究発表会でのセッションを企画することとした。

・第二期委員会について、設立の方向で考える。

【意見等】

・研究発表会でのセッション開催については、事業企画委員会と十分調整する必要がある。

・第二期委員会を設立する場合には、趣意書、メンバー構成案を作成して、早めに研究企画委員会に上げて欲しい。

(4) 応用地形学研究小委員会(第三期)・・・中曽根委員

・前回幹事会(平成21年1月11日開催)の内容についての報告。

・今年度巡検の開催予定、各WG活動状況、今後の委員会開催予定についての報告。

(5) 応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期)・・・長田副委員長

・第14回委員会(平成21年10月5日開催)の内容についての報告。

・WG2の成果とりまとめ作業、および、50周年記念出版物への取り組みを行っている事の報告。

5 - 3 . 常置委員会・理事会報告

(1) 事業企画委員会・・・阪元幹事代理報告

・平成21年度第3回委員会(平成21年10月17日開催)の内容についての報告。

(2) 理事会報告・・・大塚委員長

・平成21年度第2回理事会(平成21年10月22日開催)の内容についての報告。

・社団法人としての規則、規程等の見直し状況、次回理事選任の取り組み状況についての報告。

・論文賞・功績賞選考特別委員会の委員として、長田副委員長が選任された。

(3) 総務委員会・・・長田副委員長

・平成21年度第3回委員会(平成21年10月16日開催)の内容についての報告。

5 - 4 . 設立50周年記念行事出版物について・・・大塚委員長、阪元幹事

・第18回委員会(平成21年10月13日開催)の内容について、および出版物作成の取り組み状況についての報告。

・特別委員会委員と執筆者からなる記念出版物とりまとめ役(6名)を選任した。現在、各原稿執筆者からの目次案の集約をほぼ終えたところであり、今後、11月末を目処に原稿集約を行う予定。

・出版物の前半部分となる「応用地質学のあゆみ」については、作成を担当していた小野田委員に原稿の作成状況を確認する。なお、この原稿を基に、研究企画委員会が担当している学会パンフ関係の著作権許諾の申請について再整理する(パンフ + 出版物で申請、あるいは、パンフのみで申請に区分)。

5 - 5 . 地球惑星科学連合大会セッションについて

・前回委員会での議論内容を踏まえ、日本応用地質学会を提案母体とする「CO2削減のための Green Geo-Technologyの探求」と題するセッションを登録した。なお、当学会からの登録セッションは、千木良理事を代表コンピーナとする「湿潤変動帯の地質災害」との2セッションとなった。

・学会組織としての取り組みが必要であり、引き続き研究企画委員会も活動に協力していく。

5 - 6 . その他

・次回委員会開催日は、1月28日(木)15:00より学会事務局にて開催する。